

聞こえに異常のある人は
V字筋が硬直している

私が感音性難聴を発症した40年前、「感音性難聴は治らない病気」といわれ、積極的な治療はありませんでした。

しかし、私が35年以上、難聴に特化した鍼灸治療を行ってきたなかで、「治せる難聴はある」と確信を持つていえます。

実際、突発性難聴をはじめとする難聴や、耳鳴り、耳閉感、めまいなどが改善した人は、2024年1月現在で3941件と、4000人近くに達して

います。

耳の聞こえと大きく関係しているのが、首の左右にある「胸鎖乳突筋」です（下の図参照）。胸鎖乳突筋は、鎖骨の内側の端と耳の後ろにある骨の出っ張り（乳様突起）とを結ぶ筋肉で、首を回したり曲げたりする際に使います。正面から見ると、左右の胸鎖乳突筋はちょうどVの字の形に見えるため、ここではわかりやすく「V字筋」と呼ぶことにします。

難聴など、耳の聞こえに異常のある患者さんは、このV字筋がひどく硬直しています。



正面からだV字形に見える胸鎖乳突筋

4000人の聞こえを救った 首のV字筋ほぐしで 難聴、耳鳴り、めまい、緑内障が改善



一掌堂治療院院長

ふじいとくじ
藤井徳治

鍼灸あん摩マッサージ師。「突発性難聴ハリ治療ネットワーク」代表。上智大学経済学部を卒業し、OA機器メーカーに入社。難聴の発症により退社し、東京鍼灸柔整専門学校（現・東京医療専門学校）に入学。卒業後に一掌堂治療院を開院。『耳は「首押し」で9割ラクになる!』（河出書房新社）などの著書がある。

体を横に向けて寝たとき、V字筋は本来であれば首に沈み込んで見えません。しかし聞こえに問題のある患者さんの場合、V字筋は硬直し、浮き上がって見えるのです。

この事実に気づいた私は、試しに鍼はりやもみほぐしでV字筋のこりをほぐしてみました。すると、「耳の聞こえがよくなった」「耳鳴りが小さくなった」などと、その場で症状の改善が見られたのです。

難聴は、耳の奥にある器官である内耳ないじの、血液やリンパ（体内の老廃物や毒素、余分な水分を運び出す体液）の循環不良によって起こるのではないかと考えられています。

V字筋の末端は内耳のすぐ近くまで延びていますから、V字筋がこると、内耳につながる血管やリンパ管が締めつけられて、血液やリンパが滞りやすくなってしまうのです。

V字筋は、パソコンや携帯電

話などを扱う際に頭を下へ向けた姿勢が続くと負担がかかり、こりやすくなります。V字筋の硬直は、現代人の偏った体の使い方でも原因だと思われれます。

V字筋は、それ自体がこり固まっているという自覚を得にくいようです。ただ患者さんのなかには、V字筋のVの字の下端である左右の鎖骨の間の辺りに、物が詰まっているかのような違和感を訴える人が多く、肩や首のこりを訴える患者さんも少なくありません。おそらく、V字筋の硬直が、こうした症状として感じられるのでしょう。

高血圧や緑内障、 不妊の改善にも有効

私の治療院では、突発性難聴や耳鳴りなどの患者さんに対して、鍼治療と並行してV字筋ほぐしを行っています。

V字筋を首の後ろ側から指圧してほぐす方法はご自分でも簡単にできます。ご自宅でのセル

フケアとしてもやっていただけ、効果が上がっています。

V字筋ほぐしのポイントは、強く押し過ぎないこと。息を静かに吐きながら、ゆっくりと、軽く押さえる程度の力加減で行ってください。首を横に向けた状態で行うと、V字筋の位置がわかりやすいはずですよ。

V字筋ほぐしは1日1回以上行いますが、あまり強く押し過ぎると、寝違えたときのように首を動かしづらくなるためご注意ください。

V字筋を手のひらでさするだけでも、ある程度ほぐすことができます。めまいがある人には、こちらのほうがお勧めです。さするだけなら強めに行ってもよいでしょう。首も正面に向けたままでかまいません。

効果が現れるまでの期間は、人によって異なります。難聴や耳鳴りなどの場合、発症からV字筋ほぐしを始めるまでの期間とほぼ同じ期間は必要だと考え

てください。症状が出てから1ヵ月後にV字筋ほぐしを始めた場合なら、症状の改善が感じられるまでに1ヵ月は続ける必要があります。

V字筋ほぐしが耳の聞こえ以外の改善にも役立つたという声も多数いただいています。特に耳の聞こえと合併しやすい頭痛、不眠、うつ、肩こりが改善した例は非常に多いです。

そのほか、メニエール病や高血圧、緑内障、疲れ目、冷え症、円形脱毛症、橋本病やパセドウ病などの甲状腺機能障害、更年期障害、不妊や生理不順などの婦人科系疾患などが改善したという声もあります。

これは、V字筋ほぐしによって、内耳だけにとどまらず、首から上全体の血液・リンパの循環がよくなるためと考えられます。V字筋のこりをほぐすと、脳の指令で分泌されるホルモンのバランスが整うという報告もあります。ぜひお試しください。

突発性難聴、耳鳴り、耳閉感、めまいに特効

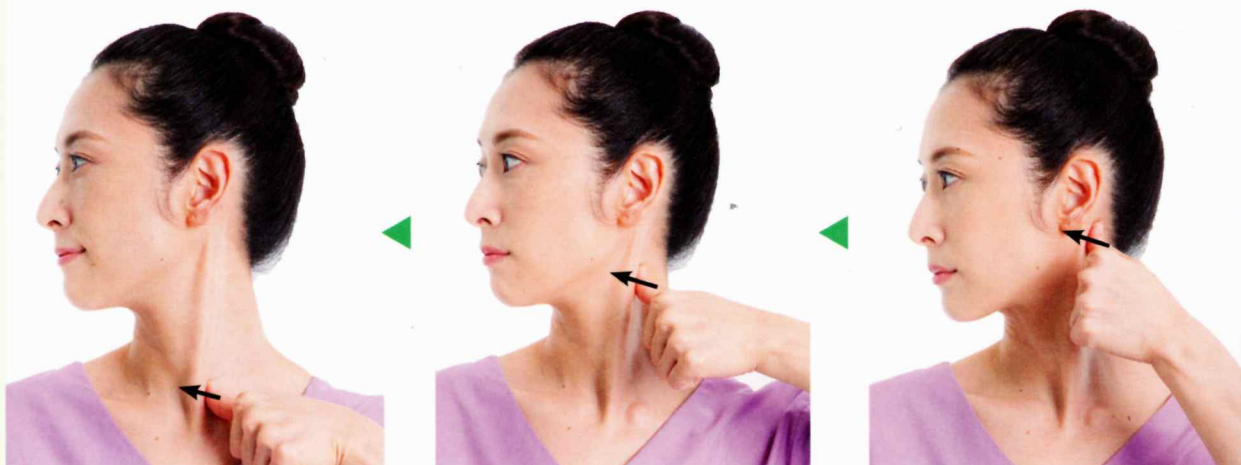
V字筋ほぐしの 基本のやり方&症状別ケア

V字筋(胸鎖乳突筋)の 見つけ方

耳たぶの裏側から首のつけ根の鎖骨の突起に向けて斜めに走っている筋肉。顔を横に向け、あごを引くと浮き上がるため、見つけやすい。



V字筋ほぐしの基本のやり方



V字筋の後ろ側に親指の腹を当て、10秒かけて息をゆっくりと吐きながら気持ちよく感じる程度の力で押す。鼻から3秒かけて息を吸い、2秒止めている間に、鎖骨方向に少し親指の位置をずらし、同様に10秒かけてゆっくりと押すことを鎖骨まで繰り返す。

左右ともに行う。

1日1~3回行うとよい。



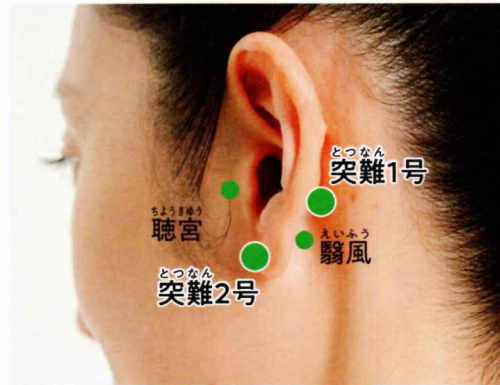
めまいがある人は、V字筋を押す刺激だと強過ぎる場合があるので、V字筋に沿ってさするとよい。

難聴のプラスケア



とつなん とつなん えんびしん
 突難1号、突難2号のツボを押す。円皮鍼やチタンテープをはると持続的に刺激ができる。ゴマなどをサージカルテープで留めて代用してもよい。

長年の治療のなかで発見した 難聴の特効ツボ

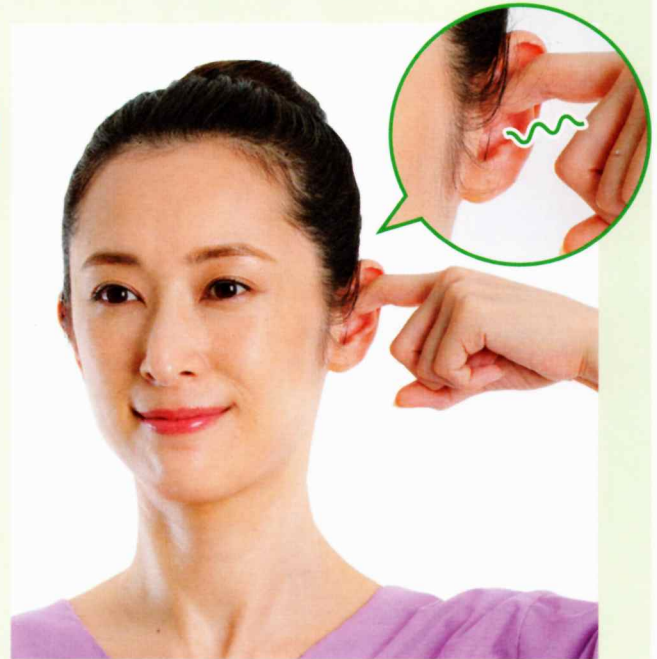


とつなん
 突難1号：耳たぶのすぐ裏のくぼみの頂点。くぼみの中央にある翳風のツボの1cm上。
 とつなん
 突難2号：耳たぶのつけ根の前側。口を開けたときに耳の前のできるくぼみにある聴宮のツボの2cm下。

耳鳴りのプラスケア

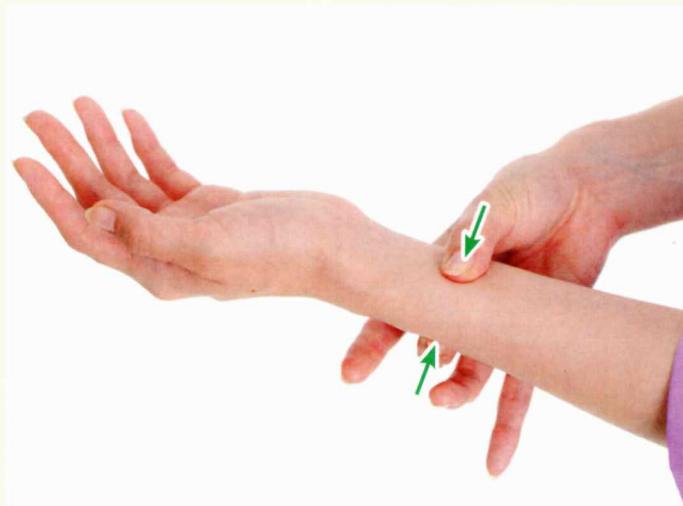


じかい
 耳介が軽く前に倒れる程度に、後ろ側から耳全体を押してパツと軽くはじく。30回行う。
 ※耳鳴りが気になるほうの耳だけでよい。



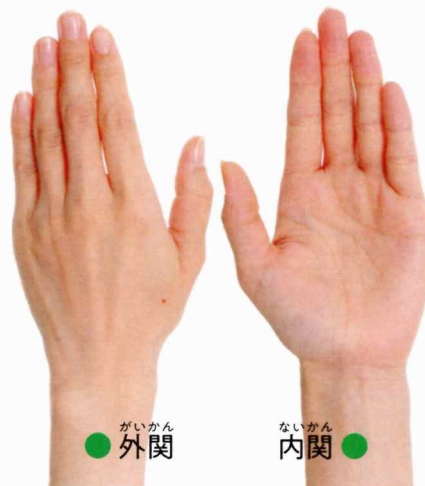
耳の穴に指先を浅く差し込むようにして、ブルブルと細かく振動させる。30秒行う。
 ※耳鳴りが気になるほうの耳だけでよい。

めまいのプラスケア



ないかん がいかん
内関と外関を30秒ずつ押す。親指と中指で手首を両側から挟むように持って押すと同時に刺激できる。両手とも行う。
指圧のほか、えんびしん円皮鍼やチタンテープをツボにはると持続的に刺激ができる。ゴマなどをサージカルテープで留めて代用してもよい。

めまいの特効ツボ



ないかん
内関：手のひら側で、手首のシワから指3本分、ひじ方向に進んだところ。
がいかん
外関：手の甲側で、手首のシワから指3本分、ひじ方向に進んだところ。

耳閉感のプラスケア



親指の腹と曲げた人差し指の側面で耳たぶをつまみ、少しずつずらしながら耳の上端までもんでいく。全体で30秒ほど行う。



人差し指と中指の間で耳のつけ根を挟み、上下に軽くこする。上下に30往復行う。

自分の声すら聞き取れない 耳閉感と耳鳴りを伴う難聴が 首のV字筋ほぐしで大回復

耳の中でセミを飼って
いるようなやかましき

突然、右耳が聞こえなくなっ
たのは昨年の4月のことです。
慌てて近所の耳鼻科へ行き、そ
こで紹介された総合病院で右耳
の突発性難聴（あるとき突然に片
方の耳が聞こえにくくなる病気）
と診断されました。

実はその1年ほど前から、右
耳に、耳鳴りが出ていました。
日中はそれほど違和感がないの
ですが、夜寝るときなど静かな
場所にいるときに、ツーンとい
う高い音が響くのです。おそら
く、ずっと前から右耳は悪く

なっていたのでしよう。

総合病院では8日間の入院治
療を受けました。しかし退院す
るころには、なぜか状態はさら
に悪くなっていたのです。

聴力の数値は入院前よりも悪
化し、耳鳴りも耳の中にセミを
飼っているかのようなやかまし
さでした。そのうえ、耳に何か
でふたをされているかのような
耳閉感も出てきました。自分の
声ですら反響して、よく聞き取
れなかったほどでした。

聴覚だけでなく、耳たぶを
触っても、その感覚すらわから
ないほど、耳の感覚が全般的に
失われてしまったのです。

そんな状態を、以前から通っ
ていた鍼灸院で嘆いたところ、

難聴を専門的に治療していると
いう一掌堂治療院の藤井徳治
先生（19ページ参照）を紹介さ
れ、5月1日に訪れました。

ここでの治療は病院とは全く
違いました。病院でステロイド
などの点滴を受けるときはとて
も緊張するのですが、ここでは
アロマなどを使ってくれて、と
てもリラックスできるのです。

治療院では、鍼治療の前に、
15分ほどかけて首の胸鎖乳
突筋（V字筋）をほぐしてくれ
ます。自分の好きな力加減でも
みほぐしてもらえるため、痛み

もなく、とても心地よいもので
した。

こわばった首のV字筋をほぐ
すと、耳の血流をよくする効果
があるそうです。自宅でも自分
で行うとよいということで、や
り方（21ページ参照）を教えても
らいました。

そこで、自宅でも1日に1〜
2回、入浴中などのリラックス
している時間帯に首のV字筋ほ
ぐしをしました。私は呼吸があ
まり意識せず、自分で気持ちか
いいと感じる程度の力加減で、
V字筋ほぐしをしています。
なぜかはわかりませんが、首
のV字筋ほぐしをしたあとは、

42歳・パートタイマー

おかだまさえ
岡田雅恵
(仮名)



寝つきがよくなり熟睡感も

耳の周辺がかゆくなりました。気になって藤井徳治先生に相談をしたところ、それは耳周辺の血流がよくなった証で、よい兆候だといわれました。そこで、病院と治療院の治療と並行して、そのまま毎日、V字筋ほぐしを続けたのです。

発症前と同レベルにまで聴力が戻った

2週間後には、右の耳たぶに触れたときの感覚がわかるようになったのです。聞こえも徐々に回復していき、吹奏楽部に所属していました。右耳に異常が出てから、そのころの曲をイヤホンを使って右耳で聞き、聞こえの状態を自分なりにチェックしていたのです。当初は一定の高さの音だけを右耳が拾えていないのがよくわかりました。その音が、少しずつ拾えるようになったのです。5月の中旬には、病院の検査で聴力が回復しているのが確認されました。医師は急な回復ぶりに驚いていましたが、自分では「やっぱり」と納得したものです。

そこで病院への通院は終了し、一掌堂治療院も同じころに卒業となりました。音の聞き分けづらさや耳閉感、はまだ少し残っています。台所で換気扇を回しているなかで子どもに声をかけられても、よく聞き取れなかったり、近所の学校の運動会で大きな音が響いたときには、耳が塞がるような感覚がしたりということがあります。ただ、そうした耳の違和感も少しずつ治まっています。耳鳴りが消えたことも関係があるのでしょうか、夜の寝つきもよくなりました。以前と比べると、熟睡感もあります。

また、ひどい肩こりで、肩に岩が載っているかのような重い感じがありました。最近肩こりが、軽くなったのです。耳が完全によくなることを期待して、もうしばらくの間、首のV字筋ほぐしを続けるつもりです。

常温の水をたっぷり飲むのもお勧め
一掌堂治療院長 藤井徳治